

白鳥の足にロープが

捕獲作戦数時間

3月中旬ころ冬の寒さもゆるみ春らしい晴れた日、イベント予定箇所の下見をするため、湊釣沼（トウツルトウ）へ行きました。

川沿いを歩いていると湊釣沼の河口に張りつめた氷に白鳥がうずくまっていた。人に気づき立上がった時、その右足にはロープが絡まっていたのです。（写真）

さっそく知床博物館に連絡し、捕獲作戦がはじまりました。

河口にはりつめた氷は薄く人が乗ると割れてしまうため近付くことができず、岸に寄せようとする努力もむなしく川の中へ逃げてしまいました。

両岸から白鳥を挟むかたちで追いかけてましたが、川幅が3メートル程あり水深も深く白鳥に近付くことができず捕獲作戦は数時間に及びましたが白鳥に軍配があがりました。

こっちは助けたいのに、白鳥は敵から逃げたいという状況に同じ生き物として動物達と意思疎通できないもどかしさを感じました。



白鳥の足に絡まったロープは人間が捨てたもの、まさかこれが白鳥の足に絡まると思って捨ててはいないでしょう。

動物達が人間の捨てた釣糸や魚網などに絡まって死んでいる写真を見たことがあります。しかし、それは遠くで起きている出来事ではなく、こんなに身近に起きている出来事だったことにこの白鳥は気付かせてくれました。



よろしくお願いします

お知らせ

4月1日付けの異動で知床森林センターに来ました、阿部恵徳です。
年齢は31歳。独身。趣味は読書、写真、パソコン、etc(何にでも手を出すとも言う)
今の目標は体重を減らすこと、ある資格を取ること(何かは内緒)。ほかに何も取り柄もありませんが、勉強しながら頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。



トピック!!

先日、ウトロの国道沿いにヒグマが現れました。観光バスが止まっていたので、ふと斜面を見ると、大きな犬ぐらいのクマがゆっくりと歩いていました。車の行き交う所まで出てくるなんて。やがて森の中に消えていきました。
お願いだから、森の中でおとなしくしてね。

知床の森から

平成13年5月発行 第72号



北海道森林管理局北見分局 知床森林センター
〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地
電話 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160
ホームページ http://www.siretoko.knc.ne.jp/

シンボルマーク「ゲラちゃん」



知床は今

冬の間静寂だった知床も、例年になく早くから居座っていた流氷が去り、柳の芽が白い綿毛を見せ、雪解け水が流れて春を感じられます。町の中では自転車が軽快に走りだし、日中の気温が上がって服装も軽やかになってきました。雪化粧をしていた知床連山も黒い地肌がでてきて、雪が黒くにじんで見えます。雪解け水の流れる林道に入ると、福寿草の鮮やかな黄色い花が目につきました。福寿草の群落も見られ車から降りてその中に踏み入ると、蝦夷エンゴサクが早々と青紫の可憐な花を見せ、その脇にはナニワズの黄色い小さな花が咲いていました。林道脇の水溜まりにはエゾアカガエルが卵を生み、プカリと浮かんでいます。国道縁の土手にはフキノトウが清楚な姿を見せ、沢沿いにはバイケイソウが頭を持ち上げて茶色の地肌に色をそえています。少し以前には、日当たりのよい斜面で枯れ草を食べていたエゾシカの姿も見えなくなり、森の中に戻り若草を久し振りに食べているのでしょうか。これから畑耕しなど農作業が始まり、木々が芽を吹き日に日に緑色が多くなりなってきます。五月の連休後には桜の花が開き小鳥達も小育てに忙しくなって、知床に住むエゾシカ、ヒグマなどあらゆる生き物達の活動も活発になって来るでしょう。



知床の森へ来ませんか

知床森林センターでは、「森林レクリエーション・in知床」などのイベントを開催し、皆さんを四季それぞれの知床の森へご案内しています。その主なコースは次の4つです。

自然観察教育林

鬱蒼とした森林の中を歩きます。樹齢数百年のミズナラを見ながら知床の森の奥深くへ入っていきます。今年は7月末を予定しています。

羅臼湖

標高約700mにある高層湿原です。なかなか天候に恵まれません、それだけに晴れた時の景色は絶品です。今年は9月上旬を予定しています。



知床硫黄山新噴火口

標高約600mまで林内や岩場など変化に富んだ風景を楽しみながらの登山です。噴火口は今も水蒸気を上げています。今年は9月下旬を予定しています。

遠音別岳山麓

オホーツク海に沿った高台の森を「歩くスキー」で散策します。流氷を眺めながら冬の知床を満喫できます。来年の3月を予定しています。

今年も皆さんを知床の森へご案内します。具体的には各イベントの募集を始める前に、新聞、地域情報誌、自治体の広報誌、当センターのホームページ等でお知らせします。お楽しみに。

第56回森林レクリエーション・in知床

「森林レクリエーション・in知床 歩くスキー - 早春の知床ウオッチング」を、3月8日(木)遠音別岳山麓にて開催しました。

参加者は北見市をはじめ近隣市町村からの22名の参加となり、雪がしんと降る中、知床の森を歩くスキーで散策しました。

現地に向かうバスの中からは、3月としては珍しくびっしりと接岸する流氷を眺めながら現地へ向かいました。

スキーコースには新雪が降り積もり、真綿のような柔らかい雪の中を快適に歩きました。



コース途中には、ドドマツに刻まれたヒグマの爪痕、クマゲラが樹の中の虫を採るために開けた大きな穴、エゾシカが木の皮を食べた跡、木の枝を寄せ集めたエゾリスの巣等を見ることができ、参加者の方々はインストラクターの解説に耳を澄ませていました。時折可愛い小鳥達も姿を見せ参加者の目を楽しませていました。現地からバスで帰る時にオシンコシンの滝を上から眺める絶景ポイントを眺めていると、オオワシが姿を見せその勇壮な姿に感嘆の声があがりました。

知床の深い森と雪の中に身を置き、静かな自然のたたずまいが感じられる、充実した一日を過ごしました。